



第58回 日本リハビリテーション医学会 近畿地方会学術集会プログラム



- ◆ 大会長挨拶 (9:25 ~ 9:30)
- ◆一般演題発表 (9:30 ~ 10:15)
 - セッションI(運動器・切断リハビリテーション診療)
 - セッションII(ICU・急性期リハビリテーション診療)
- ◆一般演題発表 (10:20 ~ 11:05)
 - セッションIII(摂食嚥下・消化器・代謝リハビリテーション診療)
 - セッションIV(回復期・地域連携・在宅リハビリテーション診療)
- ◆一般演題発表 (11:10 ~ 11:55)
 - セッションV(希少難病のリハビリテーション診療)
 - セッションVI(早期リハビリテーション・痙攣治療)
- ◆ 教育講演 1 ランチョンセミナー (共催:帝人ヘルスケア株式会社) (12:30 ~ 13:30)
『効果を最大化する痙攣治療:ボツリヌス治療を核とした運動・装具療法の効果的な併用』
札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座 教授 梅本 安則 先生
- ◆ 教育講演2 共催講演(共催:帝人ヘルスケア株式会社) (13:45 ~ 14:45)
『大腿骨近位部骨折治療と骨粗鬆症管理の最適化』
神戸大学大学院医学研究科 リハビリテーション機能回復学 特命准教授 大江 啓介 先生
- ◆ 教育講演3 スイーツセミナー (共催:インターリハ株式会社) (14:55 ~ 15:55)
『リハビリテーション診療における拡散型圧力波を用いた体外衝撃波治療』
弘前大学大学院医学研究科リハビリテーション医学講座 教授 津田 英一 先生
- ◆ 閉会挨拶および次回会長挨拶 (15:55 ~)

URL <http://www.kinkireh.com>

会長：酒井 良忠（神戸大学医学部附属病院 リハビリテーション科）

日時：令和8年2月28日(土) 9:00～16:00

会場：神戸大学医学部 神緑会館記念ホール

連絡先：神戸大学医学部附属病院 リハビリテーション科

神戸市中央区楠町7-5-2

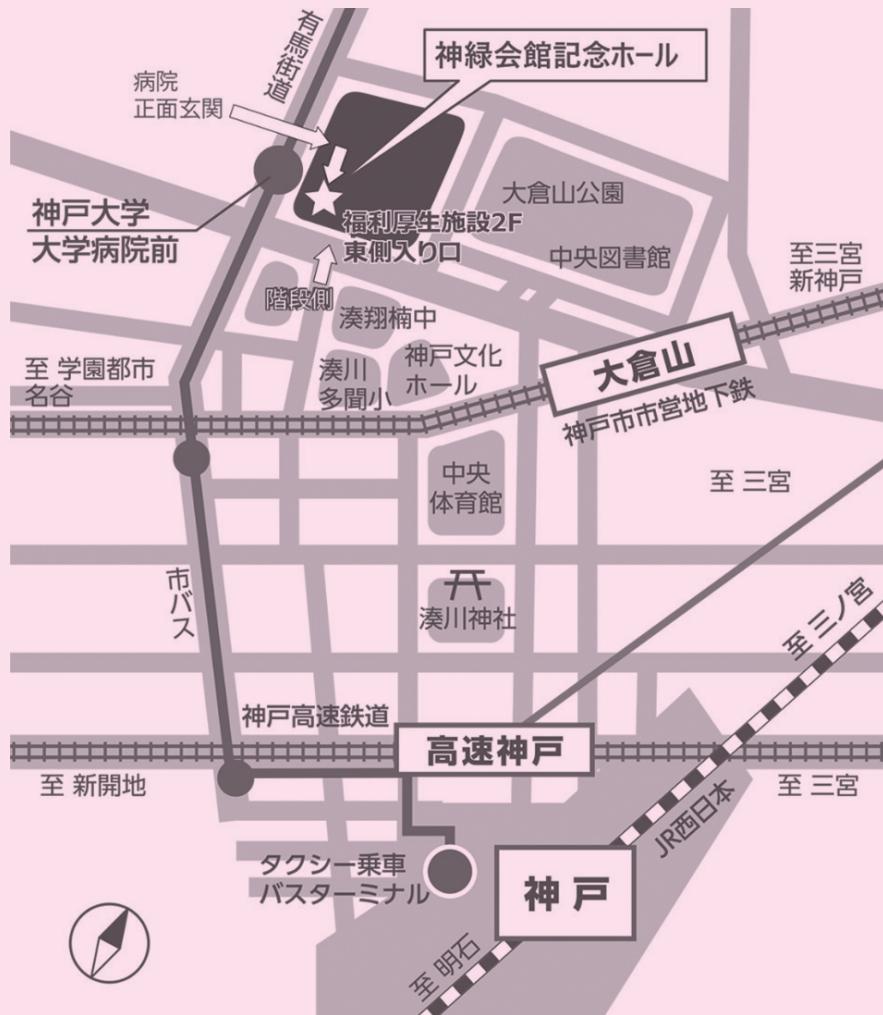
TEL:078-382-6826 FAX:078-382-6827

会場へのアクセス

神戸大学医学部 神緑会館記念ホール

〒650-0017 神戸市中央区楠町 7-5-2

TEL : 078-382-5111



<アクセス>

神戸市営地下鉄「大倉山」駅下車 徒歩約 5 分

JR「神戸」駅下車 徒歩約 15 分

神戸高速鉄道「高速神戸」駅下車 徒歩約 15 分

神緑会記念ホールは、福利厚生施設棟の4階になります。医学部附属病院正面玄関向かって右手の、2階東側入り口よりお入りください。

神戸大学医学部附属病院の立体駐車場(有料)は、駐車台数に限りがあります。

できる限り公共交通機関をご利用いただきますようお願い申し上げます。

参加者の皆様へ

1) 参加受付について

9時00分より参加受付を行います。

2) 参加費および受講料

参加費	2,000円
日本リハ医学会生涯教育研修会受講料	3,000円(30単位一括)
日本整形外科学会教育研修会受講料	1単位あたり1,000円
・当日受付にて参加費2,000円と受講料を添えてお申し込みください。	
・受講料の払戻しや受講証明書の再発行はいたしませんのでご注意ください。	
・教育研修会受講のためだけに入場される場合にも、参加費(2,000円)は別途必要です。	

3) 認定単位

- ・日本リハビリテーション医学会近畿地方会並びに専門医・認定臨床医生涯教育研修会
　　主演者(年度末に自己申請が必要) 専門医1単位 認定臨床医10単位
　　学術集会参加 専門医1単位 認定臨床医10単位
　　研修会受講 専門医3単位 認定臨床医30単位
- 日本リハ医学会教育研修受講カードは、必要事項をご記入の上、講演終了後、[リハ医学会保存用]を、会場出口の係員にお渡しください。講演途中で入退場の場合、受講証明書は交付いたしません。
- ・日本整形外科学会単位：1講演1単位(講演1:8, 13 Re 講演2:2, 4 Re 講演3:2, 13 Re)

4) 演者へのお願い

1. 口頭発表はPC(パソコン)による発表のみにさせていただきます。
2. 一般演題は、1演題に付き発表6分、質疑応答2分の合計8分間です。時間厳守でお願いします。
3. 演者は、セッション開始30分前までにはPC受付にて受付をお済ませの上、発表開始15分前までに会場にお越しください。
4. 発表にあたっては、以下の注意点を遵守ください。
 - (1) 発表はPCにてお願いいたします。Microsoft Office PowerPointで作成したデータをUSBフラッシュメモリー又はPC本体をご持参ください。
 - (2) Macintoshを利用される方はPC本体の持ち込みをお願いいたします。
 - (3) PCを持ち込まれる場合、機種・ソフトを問いませんが、コンセント用電源アダプタと、モニター出力端子としてHDMI端子をご準備頂きお持ち込みください。
 - (4) アニメーション機能につきましてはPowerPointのバージョンによって動作しない場合がありますので、ご注意ください。
 - (5) Windowsで動画がある場合には、データのみお持ちいただきてもトラブルが生じる可能性が高いため、各自PCを持ち込んでの発表をお願いいたします。
 - (6) 各自提出前にウイルスチェックお願いいいたします。

5) その他

- ・施設内は禁煙となっております。ご理解のほど、よろしくお願いいいたします。
- ・クローケなどはございませんので、各自にてお荷物の管理をお願いいたします。

プログラム

◆ 大会長挨拶	(9:25~9:30)
---------	-------------

酒井 良忠（神戸大学医学部附属病院 リハビリテーション科）

◆ 一般演題発表 セッションI（運動器・切断リハビリテーション診療）	(9:30~10:15)
------------------------------------	--------------

座長：戸田 光紀（兵庫県立リハビリテーション中央病院 整形外科 リハビリテーション科 部長）

I-1. 有棘細胞癌により下腿切断に至った高齢男性に対して急性期より義足リハビリテーション治療を行った一例

神戸大学医学部附属病院 リハビリテーション科¹⁾、
神戸大学大学院医学研究科 リハビリテーション機能回復学²⁾、
神戸大学医学部附属病院 リハビリテーション部³⁾
長瀬 麻理子¹⁾、原田 理沙¹⁾²⁾、臼井 俊揮¹⁾、西本 奈菜³⁾、花房 倫和¹⁾、福村 真優¹⁾、
山内 朋紀¹⁾、鹿島 遼河²⁾、佐保 航²⁾、吉川 遼²⁾、酒井 良忠¹⁾²⁾

I-2. 人工膝関節置換術前後の身体機能の短期間の経時的变化について

和歌山県立医科大学 リハビリテーション医学講座¹⁾、葛城病院 リハビリテーション科²⁾
武内 菜摘¹⁾、小西 英樹²⁾、幸田 劍¹⁾

I-3. High-impact trainingを施行し切断側股関節骨密度上昇を認めた下腿切断の一例

兵庫県立リハビリテーション中央病院 リハビリテーション科¹⁾、
兵庫県立リハビリテーション中央病院 整形外科²⁾
戸田 光紀¹⁾、陳 隆明¹⁾、大島 隆司²⁾

I-4. 高度円背による褥瘡に対して多職種でのシーティング介入を行なった1例

森之宮病院 リハビリテーション科¹⁾、森之宮病院 神経リハビリテーション研究部²⁾、
森之宮病院 看護部 皮膚・排泄ケア認定看護師³⁾、
森之宮病院 リハビリテーション部 理学療法科⁴⁾、川村義肢株式会社⁵⁾
中江 陽彦¹⁾、矢倉 一²⁾、正壽 佐和子³⁾、下平 幸男⁵⁾、藤本 康浩⁵⁾、岸本 峻平⁵⁾、
蛇原 伊勢夫⁴⁾、牧野 真莉⁴⁾、畠中 めぐみ²⁾、宮井 一郎²⁾

I-5. リハ介入をおこなった脊椎固定術中に骨セメント症候群を来たした1例

葛城病院 リハビリテーション科¹⁾、葛城病院 整形外科²⁾、
辻外科リハビリテーション病院 リハビリテーション科³⁾、
和歌山県立医科大学 リハビリテーション科⁴⁾
小西 英樹¹⁾、橋本 務¹⁾、大植 瞳²⁾、中土 保³⁾、幸田 劍⁴⁾

◆ 一般演題発表 セッションII（ICU・急性期リハビリテーション）	(9:30~10:15)
------------------------------------	--------------

座長：大西 宏和（兵庫県立はりま姫路総合医療センター リハビリテーション科 医長）

II-1. 急性期リハビリテーション診療における機能的電気刺激とマーカーレス歩行解析装置の併用効果—病態の異なる下垂足2症例を通じた検討—

神戸大学医学部附属病院 リハビリテーション科¹⁾、
神戸大学大学院医学研究科 リハビリテーション機能回復学²⁾、
神戸大学医学部附属病院 リハビリテーション部³⁾
山内 朋紀¹⁾、原田 理沙¹⁾²⁾、長瀬 麻理子¹⁾、藤原 克哉³⁾、坪井 康典³⁾、花房 倫和¹⁾、
臼井 俊揮¹⁾、福村 真優¹⁾、鹿島 遼河²⁾、佐保 航²⁾、吉川 遼²⁾、酒井 良忠¹⁾²⁾

II-2. 当院における救急集中治療室の多職種連携体制の構築と集学的リハビリテーション治療の各指標への影響

兵庫県立はりま姫路総合医療センター¹⁾、
神戸大学大学院医学研究科 リハビリテーション機能回復学²⁾、
神戸大学医学部附属病院 リハビリテーション科³⁾
大西 宏和¹⁾、本多 祐¹⁾、小林 槟¹⁾、相馬 里佳¹⁾、酒井 良忠²⁾³⁾

II-3. COVID-19 感染後の回復期リハビリテーション第1波から第11波までの経験

西記念ポートアイランドリハビリテーション病院¹⁾、神戸大学附属病院リハビリテーション科²⁾
小澤 修一¹⁾、佐保 航¹⁾、松本 健¹⁾、宮本 康佑¹⁾、長谷川 貴之¹⁾、藤田 重一¹⁾、
西 将光¹⁾、酒井 良忠²⁾

II-4. 痙攣と呼吸抑制を伴う心因性非てんかん性発作に対し医師帯同下で高負荷運動を継続し
自宅退院に至った1例

和歌山県立医科大学 リハビリテーション医学講座¹⁾、
和歌山県立医科大学附属病院 リハビリテーション部²⁾
齊藤 大二郎¹⁾、岡本 明幸¹⁾、前坂 真帆²⁾、今城 恭祐²⁾、坂本 あきな²⁾、幸田 劍¹⁾²⁾

II-5. ICUでのWakayama Early Mobilizationにおける実態調査

和歌山県立医科大学 リハビリテーション医学講座¹⁾、
和歌山県立医科大学附属病院 リハビリテーション部²⁾
星野 晶子¹⁾、藤田 恭久²⁾、田中 理紗子²⁾、風呂谷 容平¹⁾²⁾、幸田 劍¹⁾²⁾

◆ 一般演題発表 セッションIII（摂食嚥下・消化器・代謝リハビリテーション診療）（10：20～11：05）

座長：藤井 康光（仁寿会石川病院 リハビリテーション科 部長）

III-1. 糖尿病外来教育プログラム患者における位相角と6か月後のHbA1cの関連
－後方視的縦断研究の報告－

兵庫県立はりま姫路総合医療センター リハビリテーション科¹⁾、
兵庫県立はりま姫路総合医療センター 糖尿病・内分泌内科²⁾、
神戸大学大学院医学研究科 リハビリテーション機能回復学³⁾、
神戸大学医学部附属病院 リハビリテーション科⁴⁾
相馬 里佳¹⁾、本多 祐¹⁾、大西 宏和¹⁾、小林 槟¹⁾、橋本 尚子²⁾、酒井 良忠³⁾⁴⁾

III-2. 摂食嚥下支援チーム立ち上げとチーム介入を組み込んだ手順書改訂の報告

大阪公立大学医学部附属病院 看護部¹⁾、大阪公立大学医学部附属病院 リハビリテーション部²⁾、
大阪公立大学医学部附属病院 総合診療科³⁾、大阪公立大学医学部附属病院 栄養課⁴⁾
大窪 恵子¹⁾、池渕 充彦²⁾、山内 健³⁾、西田 裕花²⁾、岡村 春菜⁴⁾

III-3. 食道癌術後患者に対する経口摂取前のVE導入前後での術後肺炎の比較

大阪公立大学医学部附属病院 リハビリテーション部¹⁾、
大阪公立大学医学部 整形外科・リハビリテーション科²⁾、大阪公立大学医学部 消化器外科³⁾、
大阪公立大学医学部附属病院 看護部⁴⁾
西田 裕花¹⁾、池渕 充彦²⁾、田村 達郎³⁾、川嶋 将義¹⁾、藤本 依子¹⁾、荒木 千佳¹⁾、
大窪 恵子⁴⁾、寺井 秀富²⁾

III-4. 胃蜂窩織炎に伴う門脈ガス血症を生じた脳梗塞回復期患者の1例

辻外科リハビリテーション病院 リハビリテーション科
足立 拓矢、中土 保

- III-5. 門脈ガス血症及び胃壁内気腫症を合併した延髓外側梗塞に対する栄養管理・摂食嚥下療法の経験
森之宮病院 神経リハビリテーション研究部¹⁾、森之宮病院 外科²⁾
瀬川 翔太¹⁾、金 成泰²⁾、藤本 宏明¹⁾、林 隆太郎¹⁾、河野 恰司¹⁾、来 真希子¹⁾、
畠中 めぐみ¹⁾、矢倉 一¹⁾、宮井 一郎¹⁾

◆ 一般演題発表 セッションIV（回復期・地域連携・在宅リハビリテーション診療）（10：20～11：05）

座長：三浦 靖史（神戸大学大学院保健学研究科 リハビリテーション科学領域 准教授）

- IV-1. 回復期リハビリテーション病棟入院患者における自宅退院達成の予測因子としての位相角の有用性

仁寿会 石川病院¹⁾、神戸大学大学院医学研究科 リハビリテーション機能回復学²⁾、
神戸大学医学部附属病院 リハビリテーション科³⁾
鹿島 遼河¹⁾²⁾、西村 真衣子¹⁾、津田 悠三¹⁾、藤井 康光¹⁾、松田 敦子¹⁾、吉川 遼²⁾、
原田 理沙²⁾³⁾、酒井 良忠²⁾³⁾

- IV-2. 当院「息切れ外来」において外来呼吸リハビリテーション治療を行った2症例

兵庫県立はりま姫路総合医療センター リハビリテーション科¹⁾、
神戸大学大学院医学研究科 リハビリテーション機能回復学²⁾、
神戸大学医学部附属病院 リハビリテーション科³⁾
小林 槟¹⁾、本多 祐¹⁾、大西 宏和¹⁾、相馬 里佳¹⁾、酒井 良忠²⁾³⁾

- IV-3. 心臓手術前の在宅プレハビリテーションがフレイル患者にもたらす効果の検証

兵庫県立はりま姫路総合医療センター リハビリテーション科¹⁾、
神戸大学大学院医学研究科 リハビリテーション機能回復学²⁾、
神戸大学医学部附属病院 リハビリテーション科³⁾
本多 祐¹⁾、大西 宏和¹⁾、小林 槟¹⁾、相馬 里佳¹⁾、酒井 良忠²⁾³⁾

- IV-4. 回復期リハビリテーション病院における脳梗塞患者への抗血栓療法の現状と課題

西記念ポートアイランドリハビリテーション病院¹⁾、
神戸大学医学部附属病院 リハビリテーション科²⁾
西 将光¹⁾、佐保 航¹⁾²⁾、松本 健¹⁾²⁾、宮本 康祐¹⁾、長谷川 貴之¹⁾、佐々木 真希¹⁾、
劍物 英子¹⁾、藤田 重一¹⁾、小澤 修一¹⁾

- IV-5. 回復期病棟入院を契機として就労に至った1症例

姫路中央病院 リハビリテーション科
井川 鋭史、河井 宏之

◆ 一般演題発表 セッションV（希少難病のリハビリテーション診療）（11：10～11：55）

座長：佐保 航（西記念ポートアイランドリハビリテーション病院）

- V-1. 脳卒中後重度上肢麻痺に対しBrain-Computer Interface(BCI)を使用した1例

京都府立医科大学大学院 リハビリテーション医学¹⁾、
京都府立医科大学 集学的身体活動賦活法開発講座²⁾、
京都府立医科大学附属病院 リハビリテーション部³⁾、
一般財団法人京都地域医療学際研究所がくさい病院 リハビリテーション科⁴⁾
白波瀬 公香¹⁾、梶 健太郎¹⁾、櫻井 桃子¹⁾、大橋 鈴世¹⁾²⁾、沢田 光思郎¹⁾³⁾、三上 靖夫¹⁾²⁾³⁾

- V-2. ヌシネルセン投与を受ける脊髄性筋萎縮症3型に対するHAL医療モデルの使用経験
国立病院機構大阪刀根山医療センター 小児神経内科¹⁾、
国立病院機構大阪刀根山医療センター リハビリテーション科²⁾、
国立病院機構大阪刀根山医療センター 脳神経内科³⁾
齊藤 利雄¹⁾、柳澤 聖奈²⁾、町野 豊²⁾、林田 佳一²⁾、藤本 康之²⁾、井上 貴美子²⁾³⁾

- V-3. 神經難病に対する大振幅運動療法の即時の効果：集中型リハビリテーションプログラムによる検討
一般財団法人神戸マリナーズ厚生会 ポートアイランド病院 脳神経外科¹⁾、
一般財団法人神戸マリナーズ厚生会 ポートアイランド病院 整形外科²⁾、
一般財団法人神戸マリナーズ厚生会 ポートアイランド病院 リハビリテーション科³⁾、
一般財団法人神戸マリナーズ厚生会 ポートアイランド病院 外科⁴⁾
遠藤 秀¹⁾、山岸 紗季³⁾、小山 光貴³⁾、松田 大哉³⁾、好井 直輝³⁾、岩崎 まどか²⁾、
和田 哲成⁴⁾

- V-4. VRを利用した3次元空間における視覚刺激への反応時間の個人内解析と反応遅延領域の可視化
兵庫医科大学病院 リハビリテーションセンター¹⁾、
兵庫医科大学医学部 リハビリテーション医学講座²⁾
松本 桂奈¹⁾、宮部 由利²⁾、内山 侑紀²⁾、道免 和久²⁾

- V-5. 頭蓋咽頭腫術後に加速的長期健忘を呈した一例
森之宮病院 リハビリテーション科¹⁾、森之宮病院 脳神経内科²⁾、
森之宮病院 診療部（公認心理士）³⁾
小島 奈生子¹⁾、矢倉 一¹⁾、田中 恵子³⁾、中江 陽彦¹⁾、瀬川 翔太²⁾、藤本 宏明²⁾、
林 隆太郎²⁾、河野 恵司²⁾、来 真希子²⁾、畠中 めぐみ²⁾、宮井 一郎²⁾

◆ 一般演題発表 セッションVI（早期リハビリテーション・痙攣治療）

(11:10~11:55)

座長：大串 幹（兵庫県立リハビリテーション中央病院 病院長）

- VI-1. 上肢エルゴメータ運動中に床の唾液付着で診断につながった慢性流涎に対し、ボツリヌス療法で改善が得られた一例
那智勝浦町立温泉病院¹⁾、和歌山県立医科大学みらい医療推進センター サテライト診療所本町²⁾、
和歌山県立医科大学 リハビリテーション医学講座³⁾
羽端 章悟¹⁾²⁾³⁾、古田 仁希²⁾、玉置 智子²⁾、根本 玲²⁾、幸田 劍³⁾

- VI-2. 左被殼出血後の右上肢痙攣に対して回復期入院中にボツリヌス毒素療法を施行した一例
西宮協立リハビリテーション病院¹⁾、兵庫医科大学 リハビリテーション医学講座²⁾
東 茉由子¹⁾、勝谷 将史¹⁾、道免 和久²⁾

- VI-3. 中枢神経感染症後の痙攣に対してバクロフェンスクリーニングを施行した2例
医療法人社団 松下会 白庭病院 脳神経外科
前田 裕仁

- VI-4. 末梢神経障害を呈した自己免疫性GFAPアストロサイトパチーに対する早期リハビリテーション治療の経験
和歌山県立医科大学 リハビリテーション医学講座¹⁾、
和歌山県立医科大学附属病院 リハビリテーション部²⁾、
愛知医科大学病院 リハビリテーション部³⁾
岡本 明幸¹⁾、丹村 圭佑²⁾³⁾、向井 太陽²⁾、幸田 劍¹⁾²⁾

VI-5. irAE重症筋無力症・筋炎に対し、早期リハビリテーション治療により良好な経過を辿った一例
和歌山県立医科大学 リハビリテーション医学講座¹⁾、
和歌山県立医科大学附属病院 リハビリテーション部²⁾
山本 紋巳¹⁾、岡本 明幸¹⁾、藤 涼太郎²⁾、笠松 優衣¹⁾、幸田 劍¹⁾²⁾

◆ 教育講演1 ランチョンセミナー（共催：帝人ヘルスケア株式会社） (12:30~13:30)

座長：幸田 劍（和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座 教授）

『効果を最大化する痙縮治療：ボツリヌス治療を核とした運動・装具療法の効果的な併用』

札幌医科大学医学部 リハビリテーション医学講座 教授 梅本 安則 先生

日本整形外科学会単位:8、13、Re

◆ 教育講演2 共催講演（共催：帝人ヘルスケア株式会社） (13:45~14:45)

座長：原 仁美（神戸大学医学部整形外科 准教授）

『大腿骨近位部骨折治療と骨粗鬆症管理の最適化』

神戸大学大学院医学研究科 リハビリテーション機能回復学 特命准教授 大江 啓介 先生

日本整形外科学会単位:2、4、Re

◆ 教育講演3 スイーツセミナー（共催：インターリハ株式会社） (14:55~15:55)

座長：酒井 良忠（神戸大学医学部附属病院 リハビリテーション科 教授）

『リハビリテーション診療における拡散型圧力波を用いた体外衝撃波治療』

弘前大学大学院医学研究科 リハビリテーション医学講座 教授 津田 英一 先生

日本整形外科学会単位:2、13、Re

◆ 閉会挨拶および次回会長挨拶 (15:55~)

会長：酒井 良忠（神戸大学医学部附属病院 リハビリテーション科）

次回会長：田口 周（関西医科大学附属病院 リハビリテーション科）

※終了後同会場で幹事会を行います。